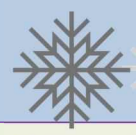


How about winter reading?



2021年もそろそろおわりです。今年、皆さんには、どんな本との出会いがあったでしょうか？
 図書委員会も、図書館だよりを始め、スタンプラリー、古本道中、ビブリオバトルなど、皆さんに本を読んでもらうために、いろいろと企画して参りました。まずは、本を手にとってみてください。アナログの世界ですが、アナログの良さもあります。もちろんデジタルの本もよさがあります。私は両方使っていますが、皆さんはどちら派ですか。
 朝の読書時間、英語多読の授業、受験のための小論文対策、面接対策、自習時間の有効活用など、図書館に来館し、本を活用する機会がたくさんあったと思います。来年も、図書館を居心地の良い場所に思ってもらえたら、うれしいです。
 さて、今回は各クラスで行ったビブリオバトルについての結果と図書委員長、図書副委員長のコメント、また、図書館を利用する生徒からのお薦め本と、古本市の収益で購入した収獲本を紹介します。

常滑高校ビブリオバトル2021結果 1、2学年クラス別チャンプ本を紹介（抜粋）

1年生

- 『赤ずきん 旅の途中で死体に出会う』青柳碧人著
- 『五分後に意外な結末』桃戸ハル著
- 『水を縫う』寺地はるな著
- 『鏡の孤城』辻村深月著
- 『ピリギャル』坪田信貴著
- 『アリス殺し』小林泰三著
- 『スガリさんの感想文はいつだって斜め上』平田駒著
- 『手紙』東野圭吾著
- 『夜行』森見登美彦著
- 『最後の医者に櫻を見上げて君を想う』二宮敦人著

1・2年共通

- 『あの花が咲く丘で君とまた会えたなら』汐見夏衛著
- 『ハリーポッター』シリーズ J.K.ローリング著者
- 『余命3000文字』村崎羯諦著
- ☆よく読んでいる本の著者☆
青柳碧人 櫻いいよ 小川洋子
さくらももこ 瀬尾まいこ
東野圭吾 山田悠介 住野よる

2年生

- 『そしてボタンは渡された』瀬尾まいこ
- 『わが闘争』ヒトラー著
- 『さくらえび』さくらももこ著
- 『太陽は動かない』吉田修一著
- 『マスカレードホテル』東野圭吾著など
- 『桜のような僕の恋人』宇山佳佑
- 『ようこそ実力至上主義の教室へ』衣笠彰梧
- 『聖域』コムドットやまと
- 『仮面病棟』知念実希人著
- 『流浪の月』凪良ゆう著

ビブリオバトルの感想

全く様々な本が各クラス、各グループで選ばれていました。みんないろんな種類の本をどうやって捜してくるのか、じつにばらばらで感心しました。選ばれた本のリストは図書館や昇降口、掲示板にも張り出してありますので、見てみて下さい。そして気になる本があったら冬休みにでも読んでみてはいかがでしょうか？

図書委員長 2-5 服部倭斗君のコメント

今回のビブリオバトルはとってもいい経験になりました。本の感想を上手に伝えようと思っても、なかなか続きませんでした。真剣に取り組み、発表手順なども考えましたが、難しくすぐ苦労しました。先生方は興味をそそるような発表をしてくれて素晴らしかったです。クラスでの発表では様々なものがあった参考になりました。そして多くの本を知るいい機会になりました。

図書副委員長 1-1 小池璃緒さんのコメント

みんなは自分たちの知らない本に出会うことができ楽しそうでした。今まで読んでこなかったタイトルやカバーの本でも、その本に惹かれた人から紹介されると、他の人では引き出せない本の魅力が見えてきて、どの本も本当に魅力的でした。紹介する本を通じて、その人の意外な人となりも見えてきて、こんな本を読むんだといろいろな発見もあり、楽しかったです。今回紹介してもらった本を、私も読んでみようと思います。

常滑高校図書館収獲本2021

先日、古本市道中で集まった売り上げ金9,500円分で生徒希望の図書を図書委員が選んで7冊購入しました。是非覗いてみてください。



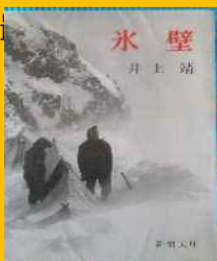
図書係新海先生のお薦め本

第5弾

『氷壁』井上 靖著

山登りの好きな人にお薦め。私も山登りの大先輩N先生に薦められました。物語は、男二人で登った山で一人が滑落して死んだ。二人をつないでいたザイルは切れたのか、切ったのか。主人公の魚津恭太の苦悩と恋が描かれつつ、雄大な北穂高の山々の描写も美しい。のか、わくわくしながら読めること請け合いです。

井上靖氏は文章が本当にうまくて、すらすら読めてつい引き込まれてしまう。全然古くない（たばこの描写以外は）。本当に。



図書館に来ている本好きが友達に薦めたい本

『わたしの幸せな結婚』 顎木あくみ著

この本は近代日本を舞台とした少女のシンデレラストーリーです。

少女が様々な人や出来事を通じて変わっていくお話です。

異能や異形も登場してファンタジーっぽい世界観がお薦めです。

(2年女子)



『十二大戦』西尾維新著

十二人の戦士たちが生きて願いを叶えるために戦う姿がかっこいい。

(鈴目蜂八)



『密やかな結晶』小川洋子著

あらゆるものが剥奪されていく島で彼らから唯一奪うことのできなかった結晶の話です。是非読んでみてください。

(2年女子)



『カラマーゾフの兄弟』ドストエフスキー著

「罪と罰」を初めて読んだとき、どっぴりとロシア文学というものに浸った感じが忘れられなくて、「カラマーゾフの兄弟」を読んでみた。とにかく長くて暗い。人物の名前が覚えられない。だから、まずは漫画で読むのもおすすめです。次にNHKの「100分で名著」で見たら、とても面白い話だとわかった。カラマーゾフ家の父フョードルを殺したのは誰か。ドストエフスキーの本当の人生が下敷きになっていて、帝政派と革命派の重厚なロシア史でもある。本当は2部作になる予定だったらしく、続編が書かれないまま、作者が死んでしまった所も謎である。

根性のある人にお薦めです。

